

2023年(令和5年)3月20日(月曜日)

あす 華道家ら作品展示

流派を超えた生け花などの作品で寺を彩る催し「江戸の華會」(東京新聞立川支局後援)が二十一日、清瀬市野塩三の円福寺で開かれる。

NPO法人「いけばな文化振興普及協会 いけばなworks」(事務局・東久留米市)の主催。昨年まで台東区の天眼寺で開催していたが、十一回目の今年から多摩地域に会場を移す。

清瀬・円福寺 花で彩る

都内や神奈川県内の華道家ら八人が、伝統的な華道や現代的なフラワールアレンジメントの作品十点を寺の客殿に展示する。西東京市の大井靖瀬さん(四毛)は、フリーシアやスイートピーなどで「春らんまん」を表現。「明るさや希望を感じてほし



円福寺の客殿で作品を生ける大井さん＝清瀬市で

い」と思いを込めた。

入場無料。展示は午前十時～午後四時。午前九時～十時に花供養の法会、午前十一時～正午に日舞の奉納もある。問い合わせは円福寺＝電042(491)0753へ。

(服部展和)